

～いそどり農業に学ぶ～官民連携人材育成モデル事業 (平成22年度 官民連携型人材育成普及実証研究事業)

実施主体:株式会社いそどり

実証研究事業の概要

徳島県上勝町における、いそどり農業の人材育成(後継者及びプロデューサー型リーダー育成)システムの開発を行う。あわせて、本事例を参考に他地域、他業種への汎用マニュアル及び教材(テキスト)の作成を行う。

人材育成のポイント

- 生産者の後継者育成として、基礎知識、営農モデル(品目、面積、収益目標など)、品目別マニュアルづくり(ビジュアル化)を行い、今後、IT技術研修、意識教育などの研修体系づくりを行う。
- 経営者(プロデューサー型リーダー)育成として、成功する15の力と7つの成功法則等を整理したリーダー養成マニュアル等の作成を行い、今後、実務研修や徒弟指導などの研修体系づくりを行う。
- 上記マニュアルの作成に当たっては、技術と技能を伝えるノウハウを有する教育研究団体TOS Sを活用。更に、他地域、他分野へ応用したマニュアルも作成。

人材育成マニュアル

○いそどりの考え方～地域づくりは人づくり～

- ①寂れていく農山村、②仕事をつくる、③出番をつくる、④人の気を動かす、⑤個人所得を増やす、⑥人が輝き、輝く人が集まる、⑦まちが輝く

○地域プロデューサーで成功する15の力

- ①直感力・気力 ②想像力・創造力 ③調査力・研究力 ④構築力・企画力 ⑤説得力・情報力 ⑥組織力・対話力 ⑦指導力
⑧商品開発力 ⑨広報力・交渉力 ⑩マーケティング力 ⑪分析力・判断力 ⑫マネージメント力 ⑬持続力・体力
⑭人間力・良縁力 ⑮行動力・開運力

○成功法則と他地域での応用～7つの成功法則～

- ①考え方を学ぶ ②個人が儲かる仕組み ③オンリー1・ナンバー1 ④マーケット情報・生産情報 ⑤居場所と出番
⑥話題づくり・地域づくり ⑦プロデューサー・リーダー

コミュニティ人材・インキュベーションプログラム

(平成22年度 官民連携型人材育成普及実証研究事業)

実施主体: 合同会社 場所文化機構

実証研究事業の概要

高崎と宇和島を題材に、観光ツーリズムとそれを構成する地域のコミュニティビジネス(CB)の立ち上げと、その過程における人材育成プログラム(CIP)の実践

※CIP: コミュニティ人材・インキュベーション・プログラム

高崎CIPの概要

- ・高崎の顔、玄関口である「まちなか」の活性化が大きな課題(高崎市商業課との連携)
- ・このため、郊外とまちなかを紡ぐコミュニティ・ビジネスの創出・それを担う人材育成を実施

【実施事業】

- ・まちなかで群馬の美味しい食材を発信する「すもの食堂」の立ち上げと運営
- ・上州高崎あそびの企画「観光コンシェルジュ事業」のトライアル実施 等

宇和島CIPの概要

- ・地域の誇りを表現する場所が必要(宇和島市商工観光課との連携)
- ・このため、訪れた人が「木屋旅館」を拠点に、市内中心部に点在する史跡、歴史的施設・景観との連携を図り、宇和島を回遊し文化を堪能できる事業の創出・それを担う人材育成を実施

【実施事業】

- ・空き店舗を活用したえびす市場の展開
- ・観光ツーリズムの実施 等

プログラムのポイント

- ・地域特性に応じた地域独自のプログラムとして実施
- ・地域資源を発掘、目利き。未利用資源等を質の高い空間に再生。質の高いコンテンツ発信
- ・アイデアや人材の種を苗まで育てる(苗床機能)。

ノウハウ取得により能力の向上

個人の思いやアイデアを目利き

地域の人とのふれあいや活動を通じ自らの意志と適性を見極め

トライアルを通じ地域内での起業や就職へつなげる

- ・CBのパートナーとなる自治体の意識や行動の変化を促す。

都市・地域交流型人材育成プログラム（丸の内朝大学）

（平成22年度 官民連携型人材育成普及実証研究事業）

実施主体：一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会

実証研究事業の概要

- 沖縄における新しい旅(*)の企画を題材として、都市（東京）と地域（沖縄）の交流をプロデュースする人材の育成プログラムの実践

(*) 個人を基本として、自らのライフスタイルや価値観に根ざした、目的滞在型のフィールドワークを主体としたツアー

都市側（東京都）での事業概要

- ・ 丸の内朝大学秋学期に「ニッポン再発見シリーズ沖縄編」を設置
- ・ 「学んでから旅に行く」という新しい旅の提案を行い、新しい都市生活者を開拓
- ・ 都市生活者のニーズをヒアリングし、地域側に提供、サービスとのマッチング
- ・ 講義を通じて、沖縄県関係者とのネットワークを形成

地域側（沖縄県）での事業概要

都市側の事業で得られた都市生活者のニーズを前提に

- ・ ニーズに応えるための勉強会を開催し、地域リーダー（キーパーソン）を育成
- ・ 行政、民間事業者幅広く声がけをし、地域全体での受入れ体制の構築
- ・ 地域資源の見直しを行い、ニーズを踏まえた企画・コンテンツの作り方、集客の仕方、PRの仕方等の検討

人材育成のポイント

キーパーソンを見極めと育成

地域で立場を超えて様々な人を「繋げる」人材の掘り起こし、育成

フォローコミュニティの醸成

キーパーソンを支える個人、企業、行政等が入れるコミュニティの醸成

ローカルエリアの人材育成

地域の現場で都市生活者を受け入れる事業者の育成

協業
巻き込み

地元企業・
大企業の
支店

「コミュニティプラットフォーム」の構築

支援

行政

都市側のニーズ